



9

2013 SEPTEMBER

あなたと町を結ぶ広報

なみえ



ホームページやフェイスブックは、
携帯からもご覧いただけます。
QRコードをご利用ください。

平成25年9月 No.572

毎月1回1日発行

- ② 復興に向けて
- ④ なみえの“しゃべり場”
- ⑤ 保健だより
- ⑥ みんなでともに乗り越えよう
- ⑧ 本格除染に向けて・固定資産評価審査委員
- ⑩ まちの話題
- ⑬ 情報びっくあっぷ
- ⑱ みんなの図書館
- ⑲ 浪江のころ通信
- ⑳ 連絡先一覧

今月の表紙

ふるさとへの想いを胸に、一歩前へ（8月11日 なみえの盆踊り）



復興に向けて

浪江町復興計画策定委員会による 新たな検討体制がスタートしました

町では、昨年度「浪江町復興計画策定委員会」を設置し、町民と行政が一体となり「浪江町復興計画（第一次）」を策定しました。
今年度は、復興を実現していくための課題解決策を共に模索していく「町民協働による進行管理部会」と、まちづくりの整備方針の具現化を図る「まちづくり計画検討部会」とに分かれてさらに検討を進めていきます。



浪江町復興計画策定委員会の構成

復興計画策定委員会

昨年度策定された復興計画【第一次】の推進と、復興計画に基づいた「ふるさと再生」を具現化するため、引きつづき設置します。

幹事会

■目的
両部会の検討の中で、全体的な調整が必要とされる事項などの検討を行います。

町民協働による進行管理部会

■目的
復興計画【第1次】にて整理された、まちづくりの整備方針の具現化を図ります。土地利用のあり方や町内での災害公営住宅の建設方針、生活基盤（医療・介護・商工業など）の再生方針について検討を行います。まちづくり計画への提言書として2月を目途に成果品をまとめます。

まちづくり計画検討部会

■目的
計画の着実な実行のため、事業成果の検証や施策実行への課題点を確認し、改善策等の検討を行います。何が達成され、何が課題となり未達成なのかを、町民視点で検証し町の復興・復旧のため、今後の取り組みについての助言を行うとともに、計画の進捗状況の可視化（見える化）についての手法検討を行います。



復興計画策定委員会全体会

復興計画策定委員会全体会を7月11日に開催し、新たに設置する2つの部会の役割や検討内容、復興計画策定後の経過、町の現状と課題等について説明を行いました。
また、全体会後は2つの部会に分かれ、部会ごとの検討内容や検討方法の確認を行いました。全体会は、2つの部会間の情報共有の場として随時開催していきます。

まちづくり計画検討部会

復興計画【第一次】で示された浪江町内のまちづくりの方向性を具現化する「復興まちづくり計画」の策定に向けて検討を

復興計画策定スケジュール（予定）

	まちづくり計画検討部会	全体会	町民協働による進行管理部会
7月	第1回（7/11）	★7/11	第1回（7/11）
	第2回（7/23）		第2回（7/29）
8月			第3回（8/21）
	第3回（8/28）		第4回（8/30）
9月			第5回（9/9）
	第4回（9/24）		第6回（9/30）
10月			第7回（上旬）
	第5回（下旬）	★下旬	第8回（下旬）
11月	第6回（中旬）		
12月	第7回（上旬）		
1月			
2月	第8回（上旬）	★下旬	
3月			

町民協働による進行管理部会
昨年10月に策定された、復興計画【第一次】に記載されている施策や事業の取組み状況を共有しています。
これまで7月11日、7月23日、8月28日の3回開催され、まちづくりをしていく上での課題や必要な生活環境等について話し合いを行いました。
来年の2月を目標に、1月1回程度の会議を開催し、「復興まちづくり計画」への提言をまとめていきます。

町民協働による進行管理部会
有し、より良い課題解決策を町民と行政とが共に検討していきます。
これまで7月11日、7月29日、8月21日、8月30日の4度開催され、各分野に関しての成果確認、課題抽出、対応策の検討を行いました。
今後、11月まで月に2回程度の頻度で、様々な分野の課題解決方策について検討を進めていく予定です。

まちづくり計画検討委員

（7月11日現在・敬称略）

	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名	
有識者	福島大学	鈴木 浩	【公募委員】	柴田 敬一	職員委員	産業・賠償対策課	大原 教知
	住まいの研究所	鎌田 一夫	【公募委員】	鈴木 正一		復興推進課	佐藤 祐一
	青年会議所	廣坂 光広	近徳 京月寮	近藤 京子		ふるさと再生課	鈴木 祐一
	【公募委員】	武藤 晴男	青年会議所	石田 全史		生活支援課	津田 菊生
	【公募委員】	青山 信一	商工会青年部	八島 貞之		教育委員会事務局	鈴木 政己
	特定非営利法人 J I N	川村 博	（株）まほろば設計室	堀内 英樹		議会事務局	清水 佳宗
	【公募委員】	原田 洋二	桑折仮設自治会	小澤 是寛		婦町準備室	鈴木 貞孝
	【公募委員】	芳賀チエ子	【公募委員】	阿部 伸一		オブザーバー	
	商工会青年部	阿久津雅信	漁協請戸支所	網谷 信行		福島復興局次長	高橋 直人
	朝田材木（株）	朝田 英洋	漁協請戸支所	玉野 真喜		福島復興局参事官	白石 好春
町民委員	赤宇木行政区	今野 義人	【公募委員】	伏見 範子	国・県職員等	県避難地域復興局主幹	國分 守
	【公募委員】	鈴木 大久	北幾世橋北行政区	志賀 洋一	相双建設事務所課長	芳賀 英幸	
	【公募委員】	亀田 和行	北棚塩行政区	佐々木久雄	都市開発機構（UR）	佐光 清伸	
	権現堂行政区	石澤 茂	中浜行政区	川口 登	ファシリテーター※		
	J Aふたば	神長倉正満	総務課	居村 勲	高崎経済大学教授	櫻井 常矢	
	元青年会議所	戸川 聡	介護福祉課	佐藤 孝子	地域社会デザイン・ラボ	遠藤 智栄	
	N P O新町なみえ	新谷 保基	健康保険課	安倍 靖	コミュニティ・ワークス	青木ユカリ	
	なみえ絆いわき会	大波 大久	町民税務課	清水 中			
	大堀地区行政区	高田 勝人	復旧事業課	武隈 吉美			

※ファシリテーターとは、中立な立場でスムーズに話し合いができるように調整する役割を担う方です。

町民協働による進行管理検討委員

（7月11日現在・敬称略）

	所属	氏名	所属	氏名	所属	氏名	
有識者	福島大学	丹波 史紀	泉田川漁協	小山 公明	職員委員	復旧事業課	三瓶 徳久
	ふくしま自治研修センター	吉岡 正彦	【公募委員】	原澤 幸一		産業・賠償対策課	大浦 龍爾
	アーバンクラフト	長崎 利幸	商工会青年部	松下 徳弘		産業・賠償対策課	掃部関 久
	【公募委員】	佐藤 雅昭	手七郎行政区	末永 一郎		復興推進課	小島 哲
	浪江懇談会	松崎久美子	（株）日本環境調査研究所	志賀 重夫		ふるさと再生課	中野 隆幸
	【公募委員】	浅見 公紀	津島地区行政区	高橋 美雄		ふるさと再生課	長岡 秀樹
	N P O新町なみえ	神長倉豊隆	下津島行政区	今野 秀則		生活支援課	鈴木 貴士
	【公募委員】	後藤 烈史	【公募委員】	斉藤 基		生活支援課	渡邊 啓一
	浪江町 P T A 連絡協議会	佐藤 博美	【公募委員】	加藤 博康		教育委員会事務局	松本 幸夫
	浪江町 P T A 連絡協議会	佐藤 隆	ふるさと浪江会	作間 清子		教育委員会事務局	矢森 澄江
町民委員	浪江小学校 校長	石井 賢一	南棚塩行政区	上田 順一	婦町準備室	鴨川 永好	
	【公募委員】	小野田浩宗	相馬双葉漁協	高野 一郎	福島復興局次長	高橋 直人	
	【公募委員】	筒井 京子	総務課	吉田 厚志	福島復興局参事官	白石 好春	
	あんしん介護サービス	吉田 政之	介護福祉課	根本 貴代	県避難地域復興局主幹	國分 守	
	コーヒータイム	橋本由利子	健康保険課	根本 孝徳	県避難地域復興局	比佐野 孝	
	商工会	原田 雄一	健康保険課	吉田 良子			
	農業委員会	山田 四郎	町民税務課	戸浪 義勝			

合い言葉は「みんなで元気！」 ロコモ予防教室開催中



保健 だより



☎健康保険課健康係 ☎0243-62-0168

「ロコモティブシンドローム（通称：ロコモ）」をご存知ですか？

運動機能が衰え、生活の中の自立度が低下し、要介護の危険性が高まったりする状態のことで、メタボリックシンドロームに次ぐ第2の国民病といわれています。

町では、「みんなで元気！」を合言葉に、福島市・郡山市・二本松市・いわき市で「ロコモ予防教室」を開催しています。近くにいるお友だちを誘って、みんなで一緒に体操しましょう。

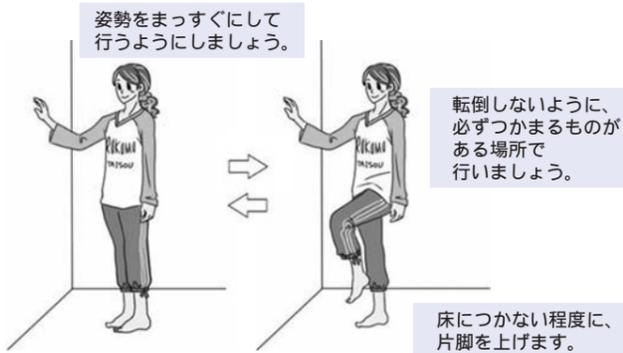


7月12日開催 郡山市

自宅で簡単 ロコモ体操

自宅でも簡単にロコモ体操をすることができます。自分に合った安全な方法で、まずは「片脚立ち」から始めてみましょう。

「片脚立ち」：左右1分間ずつ、1日3回行いましょう。



ロコチェックをしてみよう

ひとつでもあればロコモの心配があります。

- 片脚立ちで靴下がはけない
- 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 階段を上るのに手すりが必要である
- 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 15分くらい続けて歩けない
- 2kg程度の買い物（1リットルの牛乳パック2個程度）をして持ち帰るのが困難である
- 家の中のやや重い仕事（掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど）が困難である

※あてはまる数が多いほど、要介護になる可能性が高まる傾向があります。

広げよう ママ友の輪

かもめっ子クラブ「親子あそび教室」

かもめっ子クラブ「親子あそび教室」をいわき市、郡山市、南相馬市で開催中です。

お子さんと一緒に体を動かしたり、ママ同士おしゃべりをして、心も体もリフレッシュしています。

皆さんも参加して、ママ友の輪を広げませんか。

福島市でもリフレッシュママを開催しています。



(左) 7月2日 福島市リフレッシュママ
(右上) かもめっ子クラブin郡山
(右下) かもめっ子クラブinいわき



9月の かもめっ子クラブ

- ◆郡山市 9月17日(火) 10時～ ビッグバレットふくしま
- ◆いわき市 9月19日(木) 10時～ いわき文化センター
- ◆南相馬市 9月21日(土) 10時～ 東日本スポーツ（清剣館道場）

7月18日(木) 会津エリア（会津若松市）

- 会場：会津稽古堂（会津若松市生涯学習センター）
- 参加人数：約20名

渡邊副町長からの町の現状報告の後、会津若松市生涯学習講座を利用し、会津若松市近藤主幹を先生に会津の幕末の歴史を学習しました。

現在放映中の大河ドラマと同時代の話に皆さん食い入るようにお話を聞き入っていました。



なみえの“しゃべり場”

～生まれ！浪江のなかま～

開催中

同じ浪江町民同士、みんなで集い、語り合う場、共感し合う場、理解し合う場、励まし合う場、笑い合う場、さまざまな場として、“しゃべり場”を開催しています。

各地の交流会の様子をお知らせします。

8月4日(日) 東京エリア（東京都）

- 会場：芝浦工業大学豊洲キャンパス
- 参加人数：約100名

午前中は、復興推進課の進行で「ふるさと浪江を考える懇談会」を開催しました。

午後は、町長から町の現状報告の後、交流会を行いました。

交流会では、浪江町出身の若手歌手の矢野雅哉さん（牛渡）、牛来美佳さん（権現堂）、鎌田理恵子さん（権現堂）のミニライブが開催されました。



また、会場の外では地元豊洲地区のお祭りが行われ、東雲住宅に避難している人たちの自治会「東雲の会」による、なみえ焼そばの屋台や水原ゆきさんのコンサートも催されました。

お知らせ

“しゃべり場”開催予定情報は、町広報誌、フォトビジョン（電子掲示板）などにも随時掲載しますので、ぜひご覧ください。

各会場とも、どなたでも参加できます。皆さまのご参加をお待ちしています！



矢野 雅哉さん 牛来 美佳さん 鎌田理恵子さん

主催 浪江町

なみえの“しゃべり場”に関するお問い合わせ ☎生活支援課避難生活支援係 ☎0243-62-0305

「道路ふれあい月間」の道路奉仕作業

8月9日、県道長塚請戸浪江線と国道114号線で道路清掃奉仕作業が行われました。

これは、道路ふれあい月間（8月1日～31日全国一斉）の行事として実施したもので、福島県建設業協会双葉支部、福島県富岡土木事務所、町役場復旧事業課職員により作業が行われました。



避難区域内の水の汚染状況検査結果

町で実施した避難区域内の水等の汚染状況検査結果をお知らせします。

区分	検査月日	採取地	検査結果
井戸水	7月16日	権現堂	不検出
		川添	不検出
		室原	不検出
河川流水	7月10日	やな場付近	不検出
底質	7月11日	やな場付近	2,850ベクレル/kg
海水	7月10日	請戸漁港	不検出

☎生活支援課生活安全係 ☎0243-62-0151

避難区域内のゲルマニウム半導体検査結果

町が福島県に依頼し実施した避難区域内の取水場のゲルマニウム半導体検査結果をお知らせします。

区分	採取月日	採取地	検査結果
原水	7月16日	小野田取水場	施設修繕のため未実施
		苧野取水場	不検出
		谷津田取水場	不検出
		大堀取水場	不検出

ゲルマニウム半導体検出器は、ゲルマニウムを持つ半導体（温度などの条件変化によって電気を通す率が変化する物質のこと）として性質を利用して、水や食品などに含まれる微量の放射線（γ線）を測定し、放射性物質の種類やその量を測定する分析機器です。

☎復旧事業課上下水道係 ☎0240-34-0234

ADRの支援などを行います

8月1日付で日本司法支援センター（法テラス）から弁護士を任期付職員として派遣していただいております（2年間）。

町では、ADR手続の支援や損害賠償請求に関する業務全般および庁内各課に関する行政運営上、発生するさまざまな課題に対する法的な助言・指導などの業務も想定しています。

よろしくお願ひします。



井上航

- 配属先
産業・賠償対策課主幹（法務担当）
- 所属
第二東京弁護士会

食品の放射能簡易分析結果

町では、食品中の放射性物質を測る機器を配備し、さまざまな食品等の安全安心のため放射性物質測定を実施しています。

■7月の分析結果（上竹倉庫受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	60	0	100ベクレル/kg以上
山菜、きのこ類	2	0	
米（新米）	1	0	
魚	0	0	
その他	8	0	
合計	71	0	

■7月の分析結果（浪江町役場本庁舎受付分）

区分	検体数	検出された検体数	品名
野菜	1	0	100ベクレル/kg以上
山菜、きのこ類	0	0	
米（新米）	3	0	
魚	0	0	
その他	24	0	
合計	28	0	

食品衛生法における基準値（セシウム134、セシウム137の合算値）
 ●一般食品……100ベクレル/Kg ●飲用水……10ベクレル/Kg
 ●牛乳……50ベクレル/Kg ●乳幼児食品……50ベクレル/Kg

食品の簡易測定は、随時受付しています。ご希望の方は、お問い合わせください。

☎上竹倉庫事務所 ☎0243-23-4774



町では、避難先であらたにスタートした企業・店舗を随時掲載しています。営業を再開された方、掲載ご希望の企業・店舗の方は、ご連絡ください。

☎復興推進課情報統計係 ☎0243-62-4731

みんなで乗り越えよう

国へ要望活動を行いました

7月23日、馬場町長は根本匠復興大臣および新藤義孝総務大臣へ要望書を提出しました。

【要望内容】

浪江町全域を代替資産特例の対象である「居住困難区域」に指定していただきたい。

（＝代替不動産を取得した場合の不動産取得税と固定資産税の減免を浪江町全域にしていきたい。）



根本 匠 復興大臣



木村茂男 総務大臣政務官兼内閣府大臣政務官

浪江町を復興していくためには、町民の生活再建・健康管理、避難指示区域の見直し、インフラの復旧、賠償問題、絆の維持など多くの課題があります。

その中で、町がどのような取り組みをしているのかをお知らせします。

「浪江町の新しい水産業デザイン実現化事業」について

本事業は、東日本大震災と原子力事故により壊滅的な被害を受けた漁業の復興を実現し、さらには浪江町の水産業を発展させるための新しい水産業デザインの実現を目的とするものです。

本事業について、企画提案を募集したところ、7社から応募があり、審査の結果、受託候補者として『一般社団法人マリノフォーラム21』を選定しました。

今後は、受託候補者と浪江町の間で業務委託契約を締結し、事業を進めていきます。浪江町の水産業の復興・発展を目指し、現状調査や市場調査など必要な調査を行うとともに、新たな市場の開拓、水産物を使った商品開発、新しい漁業スタイルの提案など、さまざまな可能性を模索しつつ、漁業関係者の皆さまと一緒に考えていきます。



請戸漁港（3月27日撮影）

☎産業・賠償対策課産業再生係 ☎0243-62-0167

浪江町地域農業再生協議会総会開催

7月16日（火）に、平成25年度浪江町地域農業再生協議会総会を開催しました。

協議会では、震災および原発事故の影響を受けた町農業および農地の再生などを目的に、農業関連団体の職員等を構成員として、平成24年度より検討を進めているところです。

このたびの総会では、町の農業復興の方針について話し合いがなされ、農地の保管理を行う「復興組合」（仮称）の設立を目指すこと、農業者の意向調査を行う必要があることなどが示されました。

☎産業・賠償対策課産業再生係 ☎0243-62-0167

野生きのこの採取・出荷等について

野生きのこのシーズンを迎えています。県では、平成23年度から野生きのこの放射性物質のモニタリング検査を行っており、その結果、複数の市町村において国の基準値を超える放射性セシウムが検出され、次の市町村で採取された野生きのこの摂取および出荷が制限されています。

■摂取および出荷が制限されている市町村

摂取制限：

いわき市、南相馬市および棚倉町の3市町
出荷制限：

中通り(29市町村)、浜通り(13市町村)の全市町村

会津(6市町村：喜多方市、猪苗代町、会津坂下町、磐梯町、北塩原村、昭和村)
合計48市町村(平成25年8月14日現在)

今年度も、制限などがされていない地域の野生きのこについては、採取が本格化する前の早い時期にモニタリング検査を実施し、その結果を皆さまにお知らせしていくこととしています。

皆さまの御理解と御協力をお願いします。

なお、野生きのこを採取する際には次の点にご注意ください。

- 食品中の放射性セシウム基準値100Bq/kgを超えるものは、出荷や流通の自粛をお願いします。
- 自家消費用の野生きのこについては、各

市町村で放射性物質の検査を行っていますので、お問い合わせ下さい。

なお、出荷が制限されている市町村の野生きのこについては自家消費についてもおすすめできません。

- モニタリング結果は、新聞や福島県ホームページなどで公開されています。
 - 食中毒防止のため、疑わしい、知らないきのこは採らないでください。
- 最寄りの農林事務所、林業研究センター(郡山市安積町)またはきのこ振興センターで、相談に応じています。

■野生きのこ出荷制限位置図



野生きのこに関する問い合わせ先

☎【福島県相双農林事務所】富岡林業指導所 ☎0244-26-1189 ☎0244-26-1216
☎【役場】産業・賠償対策課産業再生係 ☎0243-62-0167 ☎0243-22-4262



委員長 畠山 勝さん(中央)
委員 松崎 俊憲さん(右)
委員 愛澤 格さん(左)

(※委員長は1年毎に変わります。H26:愛澤さん、H27:松崎さん)

☎町民税務課課税係 ☎0243-62-4735

8月2日、役場一本松事務所会議室において浪江町固定資産評価審査委員会が開かれました。委員会では、委員長の選任ほか、町担当者から土地家屋の異動処理の状況や現在の課税状況について説明が行われました。委員の任期は、平成25年8月1日から平成28年7月31日までです。

固定資産 評価審査委員

よろしくお願ひします

本格除染に向けての放射線モニタリング 事前調査が始まります

環境省では、本格除染を進めるにあたり放射線量の測定や建物等の損壊状況を把握し除染作業の計画を策定するための放射線モニタリング事前調査を次のとおり行います。

事前調査では、皆さまのご自宅や農地等の敷地内に調査員を立ち入らせていただきますので、ご理解とご協力をお願いします。

▷事前調査対象区域

常磐道より西側の居住制限区域

▷請負業者 いであ株式会社

▷開始予定時期 9月中旬予定

*本調査について、不明な点がある場合は【問い合わせ先】までご連絡ください。

◎調査にあたり、家屋等の建物内部に立ち入ることはありません。

◎調査の際、皆さまに立ち会いたい必要はありません。

◎事前調査対象区域の不動産所有者さまへは、調査前にご通知いたします。

☎環境省 福島環境再生事務所 浜通り北支所 浪江担当 ☎0244-26-9912

帰還困難区域除染モデル実証事業が 始まりました

8月下旬より、国による帰還困難区域における除染モデル実証事業が次のとおり本格的に始まりました。

▷目的

帰還困難区域の除染方法と復興に係る取り組みを検討するにあたって、対象地区エリアを面的に除染し、基礎データを収集することを目的とする。

▷検証内容

- ①除染を行うための必要な知見の収集
- ②除染工法の効果を確認
- ③作業員の被ばく線量管理方法の確認
- ④費用および必要な時間等に関するデータ収集

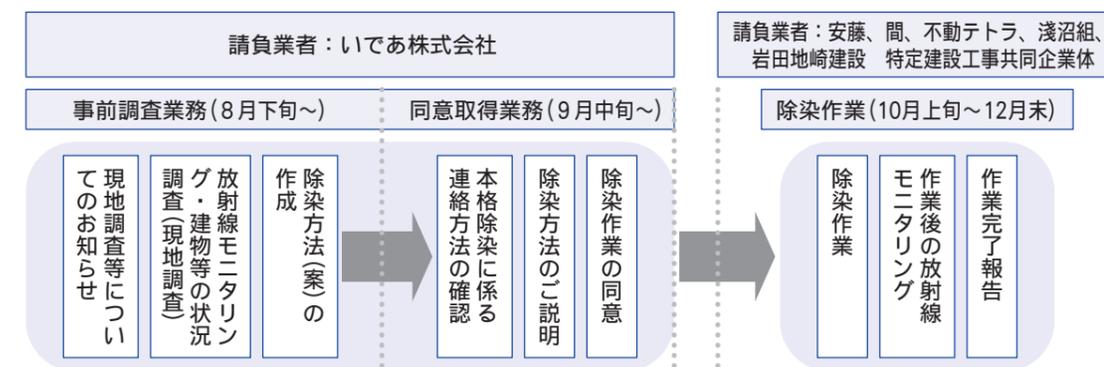
■除染モデル対象地区エリアおよび対象面積

除染モデル対象地区エリア	対象面積
●赤宇木地区エリア (年間積算線量50~75ミリシーベルト) 字小沼・中平・赤宇木・前田地区内の一部	約8ヘクタール
●大堀地区エリア (年間積算線量75~100ミリシーベルト) 字西原・宮前・清水坂地区内の一部	約7ヘクタール
●井手地区エリア (年間積算線量100ミリシーベルト以上) 字畑中地区・上井手・高倉・北川原地区内の一部	約12ヘクタール

■対象地区エリア位置



■今後のスケジュール



☎環境省 福島環境再生事務所 浜通り北支所 浪江担当 ☎0244-26-9912

優勝！浪江町 復活！双葉郡町村対抗交流野球大会



7月28日、広野町総合グラウンドで双葉郡8町村が参加する「第38回町村対抗交流野球大会」が、3年ぶりに開催されました。

選手は県内外から集まり、震災前と変わらぬチームプレーで富岡町を決勝戦4-1で下し優勝旗を手に入れました。



ふるさとへの想いを胸に



中央：在日グルジア大使
レシェレヴァン・
ロムタティゼさん

8月11日、二本松市内でなみえの盆踊りが開催されました。

会場には多くの町民が集まり、ふるさとへの想いと、前を向いて歩む気持ちをあらたにしました。

また、会場ではグルジア国からの支援で、ワイン、ヨーグルト、天然炭酸水が振る舞われました。



ふくしま駅伝浪江町チーム 夏季強化合宿

8月3日から1泊2日の日程で、ふくしま駅伝浪江町チームの夏季強化合宿が行われました。

県内外から強化候補選手およびスタッフ33人が集まり、鏡石町鳥見山公園での合同練習や大会コースの試走を実施し、チームとして集まる機会が少ない中、結束を深める実りある合宿となりました。

今後は選手個人が更に精進し、チーム一丸となって11月17日の本番に向け頑張っていきますので、浪江町チームの応援をお願いします。



相馬野馬追祭

7月27日から3日間、南相馬市において相馬野馬追祭が開催されました。

天気にも恵まれ、出陣・宵乗競馬、古式甲冑競馬、神旗争奪戦、野馬懸・例大祭と、騎馬武者たちの躍動溢れる姿に、観客からは大きな拍手が送られました。



神旗争奪戦



標葉郷のお行列



皆さまの身の回りにある楽しい話題、変わった話題などの情報を募集しています。

復興推進課情報統計係
TEL 0243-62-4731

可能な限り多くの 子どもたちに 浪江の優れた教育を

7月31日、役場二本松事務所会議室において、「平成25年度浪江町教職員兼務者連絡会議」が開催されました。

会議には70名の町教職員が出席し、原発事故による全校避難という特異状況で、避難生活を送る児童生徒たちが抱えるさまざまな問題、再開校と未再開校の双方が抱える課題や将来について話し合いが行われました。

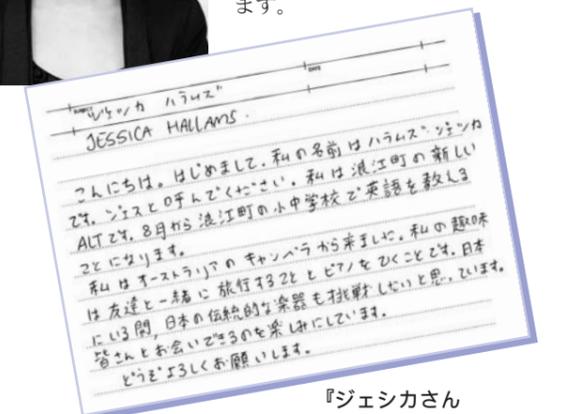
また、心理相談室グリーンフィールド代表・臨床心理士の下田章子さんを講師に、「児童・生徒のために学校でできることと、教職員のメンタルヘルス」について講演をいただきました。



How do you do?



2学期から、浪江小・中学校で外国語指導助手（ALT）として英語を教えていただくことになりました、ジェシカ・ハラムズさんを紹介します。



『ジェシカさん
直筆メッセージ』

情報

問合せ
申込み
電話
ファクス
メールアドレス
ホームページアドレス
フリーダイヤル

ぴっくあっぷ

「福島県借上げ住宅 特例措置」の 受付延長

平成25年10月までに入居可能な物件（福島県内の民間賃貸住宅）についても受付が可能となりました。

なお、借上げ住宅の住み替えについては、やむを得ない事情がある場合に限り1度のみ認められるものです。

※「やむを得ない事情とは」
福島県外の応急仮設住宅（民間借上げ住宅等を含む）から県内の応急仮設に住み替える場合や、就学、新規就労のため遠方から地元方向へ戻る住み替えの場合に限ります。

+ 仮設津島診療所のお医者さん

☎ 仮設津島診療所 ☎ 0243-24-1431

■ 診療時間 午前：9時～12時
午後：14時～16時

- 9月2日(月) 関根・佐川(午後)
- 3日(火) 関根・佐藤
- 4日(水) 関根・西
- 5日(木) 関根・佐川(午後)
- 6日(金) 関根・玉井
- 9日(月) 関根・佐川(午後)
- 10日(火) 関根・佐藤
- 11日(水) 関根・西
- 12日(木) 関根・今村
- 13日(金) 関根・玉井
- 17日(火) 関根・佐藤
- 18日(水) 関根・西・福島医大(午前)
- 19日(木) 関根・佐川(午後)
- 20日(金) 関根・玉井
- 24日(火) 関根・佐藤
- 25日(水) 関根・西・福島医大(午前)
- 26日(木) 関根・今村
- 27日(金) 関根・玉井
- 30日(月) 関根・佐川(午後)
(都合により変更あり)

介護手当について

町では、要介護高齢者（要介護4・5）の方を在宅で介護している方に、高齢者福祉の向上を図ることを目的として介護手当を支給しています。

次の支給要件すべてに該当する方には、申請書を送付していただきます。申請書が届いていない方は、支給要件すべてに該当する方は、ご連絡ください。

▽ 支給要件

- 要介護4・5の認定を受けている方を在宅で介護している方
- 施設入所、医療機関入院または短期入所を3カ月以上利用している方は該当しません。

平成25年9月1日現在、要介護4・5の認定を受けている方と生計を同じにしている方

▽ 支給金額
25,000円

▽ 支給方法
10月上旬に介護されている方の口座へ振り込み予定

☎ 介護福祉課介護保険係
0243-62-0123

町内モニタリングポスト測定結果

原子力規制委員会で町内40箇所に設置したモニタリングポストの測定結果をお知らせします。なお、測定結果情報はホームページで閲覧できます。

* 原子力規制委員会放射線モニタリング情報
<http://radioactivity.nsr.go.jp/>

☎ 原子力規制委員会
原子力規制庁監視情報課
☎ 03-5114-2125

測定地点			測定地点			測定地点		
	8/1	8/15		8/1	8/15		8/1	8/15
津島小学校	3.5	3.7	津島活性化センター	0.8	0.9	小野田集会所	2.0	2.1
津島中学校	1.6	1.8	屋曾根屯所	11.0	11.4	酒井集会所	2.7	2.8
浪江高等学校津島校	8.1	8.4	新町ふれあい広場	0.4	0.5	室原公民館	3.8	4.1
浪江（中央公園付近）	0.7	0.7	川添葉山会館	2.9	3.1	立野中多目的集会所	4.0	4.1
幾世橋（幾世橋小学校付近）	0.2	0.2	樋渡牛渡集会所	2.9	3.1	苅宿公民館	2.0	2.2
浪江ひまわり荘	2.4	2.5	高瀬多目的集会所	0.6	0.6	加倉集会所	2.2	2.4
手七郎集会所	7.9	8.3	幾世橋集会所	0.2	0.2	藤橋消防屯所	0.6	0.6
大柿簡易郵便局	10.5	10.8	浪江町公民館幾世橋分館	0.1	0.1	羽附集会所	0.6	0.7
家老集会所	6.8	7.3	北棚塩総合集会所	0.1	0.1	大字津島集会所	1.8	1.9
赤宇木集会所	8.1	8.4	棚塩集会所	0.09	0.1	南下コミュニティセンター	5.0	5.1
大堀小学校	3.0	3.2	大字請戸集会所	0.07	0.07	葛久保集会所	8.1	8.6
苅野小学校	3.6	3.8	中上ノ原町営住宅	2.7	2.8	陶芸の杜おおほり	11.5	11.7
浪江町役場	0.1	0.1	井手多目的研修センター	5.5	5.9			
小丸多目的集会所	20.4	20.8	田尻集会所	1.3	1.4			

ありがとうございました



日本ボランティア会様から、町へ義援金をいただきました（今回で3回目）。
義援金は、子どもたちのための事業等に大切に活用させていただきます。



NPO法人プレイバート様から、復興目的のイベントを開催した際に募った募金を、町へ寄附金としていただきました。



静岡県藤枝市の志太榛原住民による「避難民を支援する市民の会」代表 田端勉様から、南相馬市八方内仮設住宅へちりめんじゃこなどの支援物資ならびに町へ義援金をいただきました（今回で2回目）。



京都府西本願寺様から、町へ義援金をいただきました。

まちなみえ の話題

ゲートボールで 交流を深めよう

7月18日、二本松市郭内の屋内ゲートボール場で「浪江町長杯ゲートボール大会」が開催されました。
大会には4チーム20名が参加し、町民同士、ゲートボールを通して交流を深めました。
結果は次のとおりです。（敬称略）



優勝 チーム名 お不動様
山本 賢治、田中 義丸、
山田 英子、吉田チエ子、
遠藤 忠明

準優勝 チーム名 裸参り
石井 弘美、今野 昭二、
高橋 イネ、細川 七郎、
渡部 悟

先祖供養のそうめん流しと懇親会

8月13日、本宮市小田部仮設住宅の自治会による先祖供養のそうめん流しと懇親会が開催されました。

昨年に続いて今年で2回目で、自治会長の佐川さんは「皆さんと相談しながら継続的に続けていきたい、交流も大事にしたい。」と話されました。
竹で手作りしたそうめん流しから流れてくるそうめんを和気あいあいと食べながら、交流を深めていました。



浪江町敬老祝い金

平成25年度敬老祝い金は、支給対象者の居住先や振込口座を確認し、10月末までに順次支給する予定です。
 (昨年度に支給を受けた方については、同じ口座へ振り込みます。)

▽**受給資格者**
 浪江町に住所を有し、9月15日現在において満80歳以上の方

▽**支給額**

● 満80歳～84歳	7,000円
● 満85歳～89歳	8,000円
● 満90歳以上	10,000円

▽**今回初めて支給を受ける方**
 (前年度支給されていない支給対象者)

準備が出来次第、口座振込依頼書を送付します。振込口座を記載して返送してください。
 ▽**昨年度支給された方で振込口座を変更する方**
 問い合わせ先に連絡してください。

平成25年度上半期 保育料助成について

町では、避難先の保育所等にお子さんを入所させている保護

者の経済的負担軽減を目的として、平成25年度の保育料の助成を行います。

▽**助成内容**
 避難先で認可保育所またはそれに類すると認められる認可外保育施設(託児所等)に入所している児童の保護者で平成25年度保育料(平成25年4月分～9月分)を支払っている場合の保育料を助成します。

▽**対象者**
 災害により被災し、現在浪江町に住居登録がある方で、避難先で保育に欠けているため、認可保育所またはそれに類すると認められる認可外保育施設(託児所等)に通い、常時保育を受けている児童の保護者

▽**対象となる保育料**
 保護者が納付した基本月額保育料(延長保育料、一時保育料、食費等を除く)

▽**提出書類**
 ● 東日本大震災に伴う保育料助成申請書
 ● 保育料の領収書(原本)
 ● 通園証明書
 ● 雇用証明書(認可外保育施設に通園している場合)
 申請書類一式については、9月上旬に助成対象と思われる方へ郵送します。

※助成の対象と思われる方で、9月15日(日)を過ぎてもお手元

応援をお願いします

9月7日から、第7回市町村対抗福島県軟式野球大会が県営あづま球場で開催されます。浪江町代表選手の皆さんが浪江町を盛り上げるため、優勝目指してがんばります。皆さまの応援よろしくをお願いします。

■**浪江町の初戦**
 9月22日(日) 15時～ 対南相馬市対富岡町の勝者

浪江町代表軟式野球チーム

代表(部長) 叶谷 文平
 監督 叶谷 貴徳
 コーチ 木村 順一
 主将 佐藤 明人



佐藤 孝明	松村 光治	大友 隆史	松塚 和範
萩原 世界	八橋 勉	大内 直拳	三浦 三郎
山田 好彦	石沢 直樹	松本 孝洋	千葉 一旗
玉野 裕一	吉田 匠	佐藤 勝人	栗原 大浦
横山 竜二	藤田 知宏	田中 康裕	大浦 晃史
山本 貴史	吉野 聖光	迫田 陵	

浪江町長杯 パークゴルフ大会

パークゴルフ協会をはじめ、愛好者である浪江町民がパークゴルフを通じて元気を取り戻し、相互の交流・健康増進を目的に大会を開催します。

▽**日時**
 10月26日(土) ※小雨決行
 ● 受付 8時～
 ● 開会式 9時～

● 競技開始 9時30分
 ▽**場所**
 二本松市日山パークゴルフ場

▽**参加人数**
 100名

▽**参加資格**
 ※定員になり次第締め切ります。
 なみえパークゴルフ協会および浪江町に在住していたパークゴルフ愛好者

▽**参加費**
 1人 1,000円
 (プレー費など)

心の健康相談

に届いていない方は、お手数ですが担当までお問い合わせください。随時申請書類を郵送します。
 ※就労以外で保育に欠けている場合は、現在の状況を確認できる証明書を提出していただくようになりますので、ご相談ください。

▽**提出期限**
 10月15日(火)

▽**関係**
 教育委員会事務局子育て支援係

TEL 0244-62-0170

相双保健福祉事務所では、さまざまな心の問題でお困りの方、またその家族を対象に、精神科医による「心の健康相談」を実施しています。
 自分ひとりですみず、気軽に相談ください。秘密は厳守します。

※相談は無料。事前にお申し込みください。

▽**実施日** 9月27日(金)
 ▽**時間** 14時～16時

▽**場所** 新地町保健センター

▽**関係** 相双保健福祉事務所障がい者支援チーム

TEL 0244-26-1132

締切日

10月11日(金)
 ※申込後の参加費は、返金しませんので、不参加の場合は代理者の参加をお願いします。
 ※参加費は、当日徴収します。

▽**申込方法**
 電話等でお申し込みください。
 36ホール ストロークプレー (一部変更有)

● 日山コース(9ホール2回)
 ● 羽山コース(9ホール2回)

▽**主催**
 浪江町、浪江町教育委員会、浪江町中央公民館

▽**主管**
 なみえパークゴルフ協会

▽**後援**
 福島県パークゴルフ協会連合会、福島民報社、福島民友新聞社、千枝スポーツ、(株)本間ゴルフ

▽**関係** なみえパークゴルフ協会
 会長 長岡 惣一

TEL 960-8074
 福島市西中央5-33-2
 グランソレイユ西中央301号
 090-2602-4696

▽**関係** なみえパークゴルフ協会
 事務局 横山 開

TEL 960-8166
 福島市仁井田字西川原9-1
 パークシティー桜堤105号

音楽が果たす心のやすらぎ 心も身体もリフレッシュしてみませんか?

音楽を通してリフレッシュし、心の健康を保つために講演会を開催します。
 一緒に歌い、身体を動かし、泣き、笑いの体験型の講演会です。
 ぜひ、ご参加ください(参加費無料)。

▽**日時** 9月25日(水) 14時～15時30分
 受付 13時30分～14時

▽**会場** 道の駅「南相馬」

▽**内容** 講演「音楽が果たす心のやすらぎ」

▽**講師** 日本音楽療法学会(JMTA) 認定音楽療法士 近藤美智子 先生

▽**申込期限** 9月24日(火)まで

申・関 相双保健福祉事務所障がい者支援チーム
 TEL 0244-26-1132

日常生活に笑いを増やしてみませんか

お腹の底から笑うと、心も体も元気になった気がしませんか?

笑いが健康に良いことは医学的に実証されつつあり、注目されています。
 笑いの健康効果と笑いを生かした効果的なストレス解消法など、分りやすく教えていただきます。
 ぜひ、ご参加ください(参加費無料)。

▽**日時** 9月11日(水) 14時～15時30分
 受付 13時45分～14時

▽**会場** 相双保健福祉事務所 2階大会議室

▽**内容** 講演「笑ってストレス解消 ～心と体を癒す笑いの力～」

▽**講師** 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 教授 大平 哲也 先生

▽**申込期限** 9月10日(火)まで

申・関 福島県精神保健福祉協会相双支部 (事務局) 相双保健福祉事務所障がい者支援チーム
 TEL 0244-26-1132

浪江町長杯 ソフトボール大会

ソフトボール協会をはじめ、愛好者である浪江町民がソフトボールを通じて元気を取り戻し、相互の交流・健康増進を目的に大会を開催します。

▽**日時**
 11月9日(土) ※小雨決行
 ● 受付 8時30分～
 ● 開会式 9時～
 ● 競技開始 9時15分～

▽**場所**
 本宮市白沢運動場
 (本宮市白岩字堤崎500
 白沢公民館隣)

▽**参加チーム数**
 8チーム

※先着8チームになり次第締め切ります。

参加資格

浪江町に在住していた選手10名以上でチームを編成していること。

締切日

10月25日(金)

申込先

浪江町教育委員会事務局生涯学習係

その他

● 優勝、準優勝まで表彰します。
 ● 組合せは抽選で決定します。
 ● 当日の万一の事故については、参加者対応とさせていただきます。

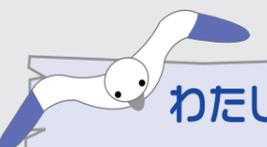
▽**主催**
 浪江町、浪江町教育委員会、浪江町中央公民館

▽**主管**
 浪江町ソフトボール協会

▽**後援**
 福島民報社、福島民友新聞社、教育委員会事務局生涯学習係

TEL 960-0984
 二本松市北トロミ573
 浪江町役場二本松事務所
 0244-62-0304

FAX 0244-22-4223



わたしたちのまち

(平成25年7月末現在)

人口	19,561人	転入	6人
男	9,564人	転出	34人
女	9,997人	出生	7人
世帯数	7,284戸	死亡	19人

※転入は、震災後転出した方の再転入のみ。
※人口は、外国人を含みます。

※この欄には、連絡がとれた方のみ掲載しています。住民票を町外に異動された方で、掲載希望の方はご連絡ください。
復興推進課情報統計係 TEL 0243-62-4731

お誕生

出生届は14日以内に (7月)

こどもの名(性別)	親の名	住所
清水 楓 <small>かほ</small> 女	善成・純子	川添
笠井 宙 <small>まほ</small> 男	信洋・彩美	酒田
廣畑 涼 <small>りょう</small> 男	剛史・真弓	北幾世橋
増子 聡 <small>とも</small> 男	智彦・寛子	藤橋
高倉 陽菜 <small>ひなな</small> 女	勇貴・結貴	川添
相浦 航太郎 <small>こうたろう</small> 男	信治・成美	川添
高野 恵助 <small>けいすけ</small> 男	直也・史子	川添
勝山 梨久 <small>りく</small> 男	美喜雄・沙也子	立野

お悔み

死亡届は7日以内に

死亡者名	年齢	住所
5月		
安倍 タツ	97歳	棚塩
7月		
松本 昭子	83歳	樋渡
杉本 猛	65歳	川添
佐藤 キヌイ	86歳	棚塩
神子 和子	81歳	川添
秋元 ミツ子	94歳	井手
陶 俊明	69歳	小野田
本城 哲夫	90歳	権現堂
泉 ウメノ	88歳	田尻
池田 ミツノ	97歳	津島
渡邊 泰雄	79歳	権現堂
志賀 直之	70歳	樋渡
田村 ヨシ子	88歳	小野田
石澤 茂	76歳	権現堂
井上 利市	83歳	北幾世橋

希望の牧場・ふくしま写真展と講演会

〜尊い命と向き合って〜

原発から14キロ地点にある希望の牧場・ふくしま。震災の生き証人でもある牛たちと牧場の活動を通して、命について考える機会となれば幸いです。ぜひご来場ください(入場無料)。

※コラッセふくしま(福島駅西口すぐ)

▽日時 9月14日(土)・15日(日)・16日(月・祝) 10時〜17時30分
(※14日は12時〜17時30分)

浪江町長杯グラウンドゴルフ大会

グラウンドゴルフ協会をはじめ、愛好者である浪江町民がグラウンドゴルフを通じて元気を取り戻し、相互の交流・健康増進を目的に大会を開催します。

▽会場 コラッセふくしま 1階アトリウム

▽日時 9月14日(土) 14時30分〜16時30分
コラッセふくしま 5階小研修室 *定員120名

▽内容 「決死救命1000日〜べご屋の意地〜」
希望の牧場・ふくしま事務局 代表 吉沢 正巳

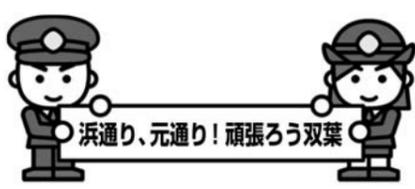
▽お問い合わせ 浪江町教育委員会事務局 TEL 03-3496-2177

浪江消防署からのお知らせ

仮設住宅ふれあい巡回訪問を実施します。

今回で3回目となる仮設住宅の全戸巡回訪問を9月2日から行います。訪問を通して火災予防のお話をさせていただきます。その他お身体の状態、ご意見などがありましたら、話を聞かせてください。

浪江消防署富岡消防署川内出張所 TEL 0240-38-2119
(浪江消防署は川内出張所で業務をしています。)



浜通り、元通り! 頑張ろう双葉

平成25年度 自衛官募集

防衛省・自衛隊では、平成25年度自衛官採用試験を次のとおり行います。詳しくはお問い合わせください。

試験種目	防衛医科大学校看護学科学学生(自衛官コース)	防衛医科大学校医学科学学生	防衛大学校生(前期日程)
採用区分等			
受付期間	9月5日(木)〜30日(月) ※締切日必着		
応募資格	21歳未満(高卒または卒業見込み)		
一次試験(筆記試験)	10月19日(土)	11月2・3日(土・日)	11月9・10日(土・日)
採用予定数	約75名	約85名	人文・社会学科専攻 約65名(うち女子約15名) 理工学専攻 約235名(うち女子15名)

自衛隊福島地方協力本部相双地域事務所
〒975-0033 南相馬市原町区高見町1丁目142-2
TEL・FAX 0244-23-4712

浪江町長杯家庭婦人バレーボール大会

バレーボール協会をはじめ、愛好者である浪江町民がバレーボールを通じて元気を取り戻し、相互の交流・健康増進を目的に大会を開催します。

▽日時 11月9日(土)
●受付 8時30分〜
●開会式 9時〜
●競技開始 9時15分〜

▽場所 本宮市白沢体育館(本宮市白岩字堤崎318-1) 8チーム

※先着8チームになり次第締め切ります。

▽参加資格 浪江町バレーボール協会所属チームおよび浪江町に在住していた愛好者10名以上でチームを編成していること。

▽締切日 10月22日(火)

▽申込方法 電話等でお申し込みください。浪江町教育委員会事務局生涯学習係

浪江町長杯グラウンドゴルフ大会

グラウンドゴルフ協会をはじめ、愛好者である浪江町民がグラウンドゴルフを通じて元気を取り戻し、相互の交流・健康増進を目的に大会を開催します。

▽日時 10月8日(火) ※小雨決行
●受付 8時30分〜
●開会式 9時〜
●競技開始 9時15分〜

▽場所 二本松市城山総合グラウンド(二本松市郭内4-220) *定員になり次第締め切ります。

▽参加資格 浪江町グラウンドゴルフ協会員および浪江町に在住していた愛好者

▽締切日 9月20日(金)

▽その他 ●男女別に上位5位まで表彰します。
●競技ルールに違反したときは失格とします。
●認定用具を使用のこと。
●組合せは、浪江町グラウンドゴルフ協会で決定します。
●当日の万一の事故については、参加者対応とさせていただきます。

▽主催 浪江町、浪江町教育委員会、浪江町中央公民館

▽主管 浪江町グラウンドゴルフ協会

浪江町長杯家庭婦人バレーボール大会

浪江町バレーボール協会所属チームになり次第締め切ります。

▽参加資格 浪江町バレーボール協会所属チーム

▽締切日 10月22日(火)

▽申込方法 電話等でお申し込みください。浪江町教育委員会事務局生涯学習係

▽会場 コラッセふくしま 1階アトリウム

▽日時 9月14日(土) 14時30分〜16時30分
コラッセふくしま 5階小研修室 *定員120名

▽内容 「決死救命1000日〜べご屋の意地〜」
希望の牧場・ふくしま事務局 代表 吉沢 正巳

▽お問い合わせ 浪江町教育委員会事務局 TEL 03-3496-2177

避難状況 (7月31日現在)

都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	69	滋賀県	1
青森県	60	京都府	35
岩手県	34	大阪府	60
宮城県	604	兵庫県	16
秋田県	75	奈良県	6
山形県	227	和歌山県	0
福島県	14,641	鳥取県	1
茨城県	903	島根県	8
栃木県	440	岡山県	22
群馬県	203	広島県	16
埼玉県	733	山口県	1
千葉県	576	徳島県	1
東京都	951	香川県	2
神奈川県	492	愛媛県	13
新潟県	521	高知県	7
富山県	18	福岡県	19
石川県	40	佐賀県	5
福井県	12	長崎県	11
山梨県	59	熊本県	2
長野県	57	大分県	6
岐阜県	20	宮崎県	7
静岡県	74	鹿児島県	7
愛知県	35	沖縄県	29
三重県	8	国外	11

双葉設備工業株式会社

水廻り・空調・電気の専門店

— 快適な住まいと、地域環境づくりに奉仕する —

□いわき事務所 いわき市平沼の内字代の下90
TEL: (0246)39-2205 FAX: (0246)39-2606

□浪江事務所 双葉郡浪江町大字榎塩字中舟倉217

□大熊事務所 双葉郡大熊町大字小入野字向畑175-3

浪江の こころ通信

・第27号・



平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、福島県内外に分散避難した浪江町民。長期化する避難生活、先の見えない不安の中で、町民の皆さんがどのような思いで生活し、ふるさとへの思いを抱いているのか。

こうした町民の思いをつなげるために、“浪江のこころプロジェクト”が立ち上げられました。一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアム(※)が中心となり、全国各地のNPO、大学等の皆さんが取材を進め、浪江町との連携のもと「浪江のこころ通信」が編集・発行されます。

浪江のこころプロジェクトは、分散避難している町民の皆さんの声を「浪江のこころ通信」を通してお届けし、ふるさと浪江町がかつての暮らしを取り戻すことへの願いとこだわりを発信・共有しようとするものです。

※一般社団法人東北圏地域づくりコンソーシアムは、東北圏(7県)の地域コミュニティ再生や協働のまちづくりの推進を目的として、大学、NPO、企業、経済団体、行政等が連携したコミュニティ支援ネットワーク。仙台が本拠地。

再取材シリーズ

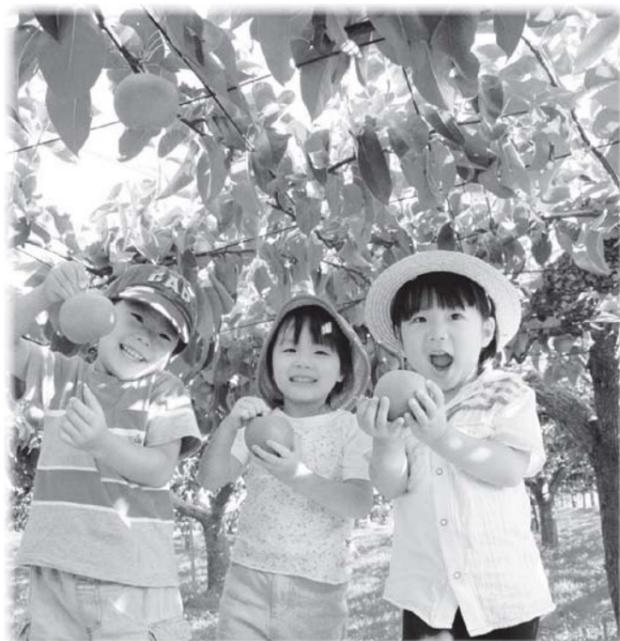
再会・浪江のこころ

これまで取材を受けていただいた皆さんに、再度の取材を行うコーナーです。

3・11から2年以上が経過した今、感じていること、伝えたいこと、そして最初の取材以降の気持ちの変化やふるさとへの思いなど皆さんの声をお届けします。

「浪江のこころ通信／第27号」への感想をお寄せください。

【連絡先】〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
「浪江のこころ通信」宛
FAX.0243-22-4218



9月の休館日

2日(月) 9日(月) 15日(日) 16日(祝) 23日(祝)
30日(月)

浪江 in 福島ライブラリー きぼう
(仮設浪江図書館)

TEL・FAX 024-573-4295

〒960-0241 福島市笹谷字片目清水30-8

◆貸出冊数 1人5冊まで

◆利用時間 9時～17時

※お気軽にご利用ください。



みんなの
図書館

読んでみませんか



「置かれた場所で
咲きなさい」

渡辺和子/著

幻冬舎2012

100万部を超えるベストセラー。

著者は1927年生まれ。

30歳間際に修道会に入り、36歳でノートルダム清心女子大学の学長になった人物。パラパラとめくっただけでも、いたるところに心を打つ暖かい言葉が詰め込まれています。

佐々木孝

生きる
原発禍を

「原発禍を生きる」

佐々木孝/著

論創社2011

南相馬市に認知症の妻と暮らしながら、大震災・原発事故の渦中で書き継がれた反骨のスペイン思想研究家の言葉。



「永遠の0」

百田尚樹/著

講談社2011

「天才だが臆病者。」死んだ祖父の生涯を調べていた健太郎は想像と違う人物像に戸惑う……終戦から60年目の夏、零戦に乗り命を落とした祖父の明らかになる真実とは。

防災行政無線などを用いた 「全国一斉の緊急情報の伝達訓練」を行います

町では、地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム(Jアラート)から送られてくる国からの緊急情報を、さまざまな手段を用いて確実に皆さまへお伝えするため、情報伝達訓練を行います。

※Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から市町村へ人工衛星などを通じて瞬時にお伝えするシステムです。

▶実施日時 9月11日(水)
1回目:11時ごろ 2回目:11時30分ごろ

▶訓練内容 町が実施する訓練は、次のとおりです。

情報伝達手段	内容
防災行政無線の試験放送	町内59カ所に設置してある防災行政無線から、次の放送内容が一斉に放送される予定です。 放送内容 「これは、試験放送です。」×3回(繰り返し) 「こちらは、ほうさい浪江こうほうです。」 防災行政無線チャイム

注1) 浪江町以外の地域でも、全国的にさまざまな手段で情報伝達訓練が実施されます。
注2) 災害等により訓練が延期された場合は、10月9日(水)に実施されます。

問 帰町準備室危機防災係 TEL 0240-34-0229

総合健診 が始まります

9月から総合健診が始まります。ご自身の健康をチェックする大切な健診です。忘れずに受診しましょう。

19歳以上の方全員に総合健診の案内を送付していますので、日程(県内)や医療機関(県外)をご確認の上、受診してください。

◆社会保険ご加入の方へ

医療保険者が実施する健康診査を受診してください。

医療保険者が健康診査を実施しない場合は、町の健康診査を受けることができます。

問 健康保険課健康係
TEL 0243-62-0168



橘 弦一郎さん(川添)

取材者：一般社団法人葛力創造舎 下枝
取材日：8月11日

「なみえ」を子どもたちに残していきたい



▲橘 弦一郎さん (中央左)

浪江焼麺太国集合写真▶

「家族は地域と会社が支える。」
震災前から浪江のまちづくりに携わってこられた橘さんに、震災前からこれまでの経過、まちづくりについて感じていることをお聞きました。



■震災前から今まで：
震災前は、浪江町川添に住んでいました。震災後は一度、滋賀県に避難をしました。本当は滋賀県から福島に戻らないと決めていたけれど、なみえの町おこしをしていくこともあり、再び戻ってきました。嫁は滋賀県に残してくるつもりだったけれど、

浪江町商工会青年部に所属していますが、時間を拘束され、家族との団らんの時間が減ってしまう中で青年部に入ることに意味があるのかわからなくて、初めはいいやいや始めた活動でした。浪江焼麺太国も本当に町おこしできるのか疑心暗鬼でした。そのとき先輩に言われたのが、家族は地域と会社があって成り

■家族は地域と会社があって成り立つ

ど、福島にくると言ってくれたので一緒に郡山市に住み始めました。その後2年余りの間、郡山市から南相馬に2時間かけて通勤し仕事を続けていました。震災当時は、南相馬市の人口も10000人まで減り、原発のこともあってなぜ戻るかという周りからよく言われました。スタッフはみんな避難していたため、1人で仕事の対応をして、多いときは70本も80本も電話が鳴っていました。毎日毎日怒られて、1人での対応でもあり心細かったです。休みも取れなく帰るのはいつも深夜で、もう死にたいと思うときもありました。

■「なみえ」を子供たちに残していきたい
苦労して遠い職場に通勤することに、なぜやるのか？バカみたいだと周りから言われました。郡山で仕事を見つけたら、原町に家族を連れて行けばいいじゃんとも言われました。けれど、原発事故で避難している人々にはそれぞれの状況がある。この感覚は同じ状況にいる人たちでないとわからない。浪江町のコミュニティは崩れ始めているところもある。帰ろうと決めた人、新しい土地に住むことを決めた方いろいろな方がいる。でも、みんな浪江町民。なみえ焼そばを通じてルーツとしての「なみえ」を残していきたい。子どもが将来胸を張って浪江町出身と言えるような、そんな世の中にしていきたい。



(株)叶屋 叶 経道さん(権現堂)

取材者：浪江町役場 舛田・嶋原
取材日：8月8日

「苦労は考えない」 (株)叶屋浪江SS 町内での事業再開第1号

現在、南相馬市に奥さんの郁子さんとお住まいの叶経道さんは、震災後すぐに動き出し、原町でガスと油の配達をなさっていました。「町内で営業ができるようになったらやる」という強い思いを実現され、7月1日に権現堂のガソリンスタンドで営業を再開されました。「大きなことは言えませんが、やるだけです。」と、おっしゃいます。



▲権現堂のガソリンスタンドにて

震災の日は権現堂の本社にいました。すぐにやむかと思っただけですが、横揺れがひどくどうしようもなかったのでスタンドを閉めました。川添のセルフスタンドには緊急発電の設備があったので、給油が出来ることを、警察、消防、東北電力へ伝えに行きました。それから、西病院へ自家発電の燃料があるか確認に行き、スタンドに戻って夜10時頃まで営業しました。翌朝、従業員も出社しましたが、避難命令のため閉めざるを

得ませんでした。それから、妻の実家の埼玉県入間市に2週間避難しました。その後、会社の保養所がある宮城県蔵王町で2年2カ月ほど暮らししました。浪江は、歩く距離で飲食が出来て用事があるところのどこにでも行けるのが魅力でしたが、蔵王に避難している時は、スーパーまで10kmもあり、遠くまで行かないと新鮮な魚も手に入らず不便でした。今年の5月16日に南相馬市のアパートへ転居して浪江に通っています。社員9人も同じアパートに住んでいます。

震災前から町内のスタンドのほか、原町で営業もしていたため、震災後も事業は完全にストップしませんでした。浪江でできる時にやる、という気持ちでした。そんな思いに親切だったのは、金融機関で、政府の助けがあって進んでこられたと思います。工事に3カ月かかりましたが、7月1日に権現堂のガソリンスタンドを再開することが出来ました。現在は、8人の従業員と営業しています。今はお客様が多くありませんが、将来、人が戻れば何とかなると思っています。いつまで悩



▲従業員の皆さんと一緒に
(左：中野良孝さん、右：佐藤友和さん)

んでもしょうがない、YESかNOかでやっています。町内に従業員がいれば防犯対策につながりますし、復興が本格化すれば町内に入る工事車両なども増えるはずだと思います。早く地元が復興すればいいと思いますので、上下水道や道路網の復旧を出来る所だけでも進めて欲しいです。人や年代によって考え方は違うので、それぞれの所で頑張るしかないと思いますが、浪江に立ち入りした時は、ガソリンとドリンクの販売機があるので皆さんに来ていただきたいですね。



佐藤 眞敏さん・鈴子さん(請戸)

取材者：NPO法人山形の公益活動を応援する会アミル 柴田
取材日：8月9日

山形からふるさと浪江の復興を 思い続けています

佐藤さんご家族は、現在も山形県山形市で暮らしています。「浪江のこころ通信」第1号の取材当時は、慣れない土地でのアパート生活でストレスがあったそうですが、借上げから引越しし、ようやく地に足をつけた生活、落ち着いた生活ができるようになってきたと感じているそうです。

また、眞敏さんは、昨年7月から浪江町復興支援員山形駐在として、町民の皆さん一人ひとりに寄り添うサポートを目指し活動しています。



▲佐藤眞敏さん、鈴子さん
お孫さんの怜那ちゃん(3歳)、桔平くん(2歳)と一緒に

山形市に約60名の浪江の皆さんが避難していることを知り、近くに私たちと同じ気持ちで多くの方が暮らしていることに安心したことを覚えています。避難してから2年5カ月過ぎましたが、支援員として町の皆さん一人ひとりに寄り添うサポートを心がけています。企画や訪問活動を通

震災から1年の間は、山形県内のひめさゆりやぼたん、しゃくやくなどの花を見に行ったり、果物を買に行ったりと家族で様々なところに出かけました。知り合いもなく何もすることがない家族単位での生活で、外に出かけると当時の状況から解放されるといってもよかったのかと思います。今考えると狭いアパートで過ごすことや環境が変わったこと、当たり前前目には見えない精神的なストレス

スになっていたのではと思います。昨年7月から、山形県駐在の復興支援員として活動しています。訪問活動や交流会などを行い、徐々に町の皆さんの状況がわかってきたと思います。活動では、山形県内全域の避難している世帯を個別に巡回しています。さまざまな方の話を聴き、「皆さん頑張っている、町のために私たちも頑張らなくては」と思っています。初め、同じ山

形で、町の皆さんの不安を少しでもとりのぞくことができるようなサポートを行いたい。自宅は津波の被害に遭い、原発も近く不安定な状態です。地に足のついた住まいをこちらに求めて春から借上げを出て暮らしています。アパートを出たことで、とても心が落ち着きました。戻りたくても戻れないことに焦りや不安を感じた時期もありましたが、自宅が流されなんともならない状態の中、「まずこの場所で生活をしたいかな」と、決意した時期がありました。息子夫婦もこちらで仕事を頑張っており、今家族と一緒に暮らせることに感謝しています。家族を支えながら、支えられながら、浪江町の復興を願う山形の地で暮らしていきたいと思っています。



高野 武さん(請戸)

取材者：NPO法人市民公益活動パートナーズ 古山
取材日：8月2日

再び海の仕事ができるだろうか。 不安と期待が交錯します

漁師をしていた高野さんは、次男と2人で海に出ていることもあり、後を継いでくれる息子さんに何か遺してやりたいと、この秋、新造船製作の契約を考えておられます。

しかし、国や東京電力には海への影響をもっと真剣に考えて欲しい。汚水処理のことはもちろん、放射性物質の影響について専門家や海を熟知している我々漁業関係者の声に耳を傾け、結論ありきで一方的な話しをするのではなく、再生へのさまざまな可能性を隠さず伝えて欲しい。言いたいことは山ほどあるが、このままお互いに聞く耳を持たなくなってしまうのは不幸だとおっしゃいます。



▲津波で唯一残った大漁旗を持って
(右から 武さん、母:アイさん、妻:幸子さん)

■大玉村を経由して、秋田県大仙市まで避難しました
あの日は海の潮が大きく引きました。ラジオで三陸沖に津波が到達するというニュースを聞き、地区の避難場所になっている大平山に行きました。妻は役場の隣にある避難所へ直ぐに移動し、私と息子は家へ毛布や布団を取りに一端戻りました。役場に向かう途中、請戸橋付近で水平線に白い波頭が見え、波が約10mの松林を乗り越えており、津波だと直ぐに解りました。その後、役場の4階から見たのは部落全体が波打っている光景でした。

■秋田にはいろいろ思い出があります
大仙市には翌年の5月まで滞在しました。福島県からの避難者第1号ということもあり、取材等も多かったです。市の生活環境の仕事も頂き1年間働きましたが、何しろ福島の情報が少ない上に家の船のことも気になって戻ることになり、福島市の北幹線仮設住宅に入居しました。浪江に近い原町辺りに転居したいのですが、一端県外へ避難した後に仮設住宅に越したので簡単には移れないようです。秋田に居た時から時間がたつきんありましたので、昔見た「松鳩文化刺繍」の制作に再び取り組み、大仙市を引き上げる時には市役所に贈呈し、会議室に飾って頂きました。今でもこれらの作品を見、近隣の方が時折来られますよ。



▲制作に1カ月かかった15号の大作と共に

今、食べ物や風評被害が大きくなり上げられています。秋田でも謂れない噂も幾つか耳にしました。うちには4人の外孫がいますが、謂れない差別や将来の結婚の際など、一番下の孫娘がことに心配です。また、放射能物質の身体への影響は、要らぬ心配と言われるかもしれませんが、どうなるものか誰も解らないだけに不安です。

■自治会の仕事を通じて「おか」の人たちとの交流がはじまりました
昨年度末に川口元会長が辞任され、4月から自治会会長を引き受けましたが、生活時間が異なることもあり、町内の人たちとの付き合い合ったことがありませんでした。でも、住民の方々がとても協力的で助かっています。支援活動団体さんも継続的に来てくださり、折々の人集めは大変ですが、平日の集会所はほぼ満杯です。広島や富山など遠方からも時折お越しになります。

復興住宅等への移住等もあり先は見えませんが、積極的に皆さんとお付き合いを深めたいと思っています。

連絡先一覧

■浪江町役場二本松事務所

〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243-62-0123 FAX 0243-22-4261

■復興再生事務所

〒975-0039
南相馬市原町区青葉町2-62-2
(前南相馬出張所)
TEL 0244-23-1112 FAX 0244-23-1114

■福島出張所

〒960-8601
福島市五老内町3番1号
(福島市役所9階西側)
TEL 024-535-0750 FAX 024-535-0753

■本宮出張所

〒969-1203
本宮市白岩字堤崎494番地22
(本宮市役所白沢総合支所1階)
TEL 0243-44-1185・1186
FAX 0243-44-1187

■桑折出張所

〒969-1611
桑折町字東大隅18番地
(桑折町役場2階)
TEL 024-582-2130 FAX 024-582-2135

■いわき出張所

〒970-8026
いわき市平字堂根町1番地の4
(いわき市文化センター2階第4会議室)
TEL 0246-24-0020 FAX 0246-24-0026

■浪江町議会事務局

〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243-62-0196 FAX 0243-22-4231

■浪江町教育委員会

〒964-0984
二本松市北トロミ573番地
TEL 0243-62-0301 FAX 0243-22-4223

■浪江町社会福祉協議会

〒964-0904
二本松市郭内一丁目81
(浪江町役場二本松第二事務所内)
TEL 0243-62-0877 FAX 0243-23-7970

■仮設津島診療所

〒969-1404
二本松市油井字長谷堂230番地
TEL 0243-24-1431

ここからは広告です。

- ・クレーン作業
- ・工事車両リース・レンタル
- ・トレーラー・トラック運送
- ・一般貨物自動車運送事業






株式会社 伊達重機

【いわき営業所】〒970-8003
福島県いわき市平下平窪字味噌農2-2
TEL 0246-88-1812 / FAX 0246-88-1813

【楢葉営業所】〒979-0606
福島県双葉郡楢葉町上繁岡字小六郎87-14
TEL 0240-25-8753 / FAX 0240-25-8783

【本社】〒979-1504
福島県双葉郡浪江町大字酒田字上原18-7

客室のご案内 (全53室)

タイプ (朝食付き)	お一部屋ご宿泊代
シングルルーム	5,400円
ダブルルーム	7,500円
ツインルーム	9,000円

◇ 専用駐車場有 (有料)
◇ 禁煙ルーム有
◇ チェックイン15:00 / チェックアウト10:00

主要アクセス
J R常磐線 / 高速バス いわき駅南口より徒歩3分

HOTEL なみえ TEL 0246-24-2555
FAX 0246-22-0512

〒970-8026 福島県いわき市平字南町63-1



発行・編集 福島県浪江町役場復興推進課

〒964-0984 福島県二本松市北トロミ573番地
TEL 0243-62-4731 FAX 0243-22-4218
<http://www.town.namie.fukushima.jp>